



7月園だより

令和7年7月
旭町保育園
山野 曜子

今年は昨年よりも少し早い梅雨入りとなり、日によっては夏を思わせる暑い日もありますね。湿度が高くてジメジメすると体がだるく感じることもあります。梅雨の時期の体調不良は、気圧の変動や湿度、寒暖差での原因が多いようです。対策方法は、生活リズムを整える、質の良い睡眠、ゆっくりと湯船につかる等が良いとのことです。梅雨明けが待ち遠しく感じますが、日本ならではの梅雨の時期と上手に付き合って、心身ともに健康で過ごしましょう。



0歳児 絵の具で感触遊び☆



1歳児 さつまいもに水やりをしたよ



1歳児 お風呂ごっこ♪

日頃の保育から
好奇心の芽生え
・探究心へ



2歳児 保育園探検&あおむし観察



とうもろこしが大きくなったよ!!



3歳児 親子遠足 夕日寺の自然を探索
草笛&カエルの卵発見！



4歳児
葉っぱでお茶作り
&野菜スタンプ



5歳児
梅ジュース作り&
シェービング
フォームを使っての
パフェ作り



今月の行事

行事予定の見方

身体計測⑤・・・身体計測

5歳児 体教・・・体育教室

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			お弁当の日 (3歳以上児)	体教(4.5歳)	身体計測⑤	
6	7	8	9	10	11	12
	七夕の会 身体計測④	身体計測③	身体計測②①	体教(4.5歳) 身体計測 (ふたば)	身体計測 (めばえ)	
13	14	15	16	17	18	19
	英語であそぼう (4.5歳)		プラネタリウム (5歳児)	体教(4.5歳)		
20	21	22	23	24	25	26
	海の日			献立表配信日 体教 (3.4.5歳)		
27	28	29	30	31		
		避難訓練 おたより配信日		体教 (3.4.5歳)		

・8月はお弁当の日はありません。

お願い・確認事項

○水遊びについて

今年の夏も気温が高く、熱中症警戒アラートが発令する日が想定されます。今後、戸外での水遊びを楽しんでいく上で、環境省の熱中症警戒アラートを基準に活動の判断をしていきたいと思います。基本的には熱中症警戒アラートが発令している時は行いませんが、詳細の時間ごとで指数が基準値を超えていない時間帯であれば、水遊びをすることもあります。活動開始時間を早くしたり、短縮したりするなど工夫をしながら、できる限り子ども達の活動を保障していきたいと思います。天気予報や実際の外気温、暑さ指数、アラートが発令するか等を確認し総合的に判断していますので、ご理解をお願いします。

○水筒・マグについて

毎日水筒、マグの用意をありがとうございます。おかげさまで活動の前後や個人に合わせてその都度水分補給をすることができています。今後の気温上昇と共に衛生面に気付けていきたいと思います。ご家庭でも定期的に洗っていただき、清潔に使用できるようにお願いします。水筒については、子どもが持った時に誤って足の上に落とす恐れがあります。水筒カバーがある方はカバーの着用をお願いします。今後買い替える機会がありましたら、水筒カバーのついた水筒の購入をお願いします。

○服装について

絵の具やマジック等、様々な手法で制作活動を楽しんだり、戸外活動で園庭や自然の中で遊ぶことが多いため、衣服や汚れてしまうことがあります。衣服の汚れを気にすることなく、のびのびと創造力を働かせ集中して遊び込めることは子どもの成長に欠かせない体験です。子ども達の体験を保障するためにも、普段から汚れてもいい服装で登園してくださるよう、ご協力をお願いします。

生命（いのち）の安全教育

今年もベランダやウッドデッキなどで水遊びをしたり、0歳児の低月齢のお子さんは沐浴をしたりと、涼しく、楽しく、快適に夏を過ごしていきたいと思います。水遊び等の準備物については各クラスボードより確認をお願いします。今年より3歳以上児クラスには、水遊び後に体を拭くタオルはゴムですっぽりと頭からかぶるタイプのものをお願いしています。夏は特に水遊びや汗をかいて着替えをする機会が増えるので、プライベートゾーン（水着で隠れる場所）を他人に見せない教育として、自分だけの大切な場所であることを知らせています。また、「小さいから」「男の子（女の子）だから」と決めつけてしまうのではなく、どの年齢、性別でも自分の体は自分のものであり、大切にしてほしいと思っています。子ども達に言葉で伝えることは難しいですが、絵本を用いたり、保育者が意識して関わることで、幼少期から少しづつ意識づけをしていきたいと思います。

参考「生命（いのち）の安全教育」（文部科学省ホームページ）

国友先生おめでとうございます！

わくわくアートの外部講師でもある画家、国友博先生が一創会で会員賞に入賞され、子ども達と一緒に祝いをしました。子ども達からは「どんな絵を描いたの？」と国友先生が賞をとられた絵に興味深々の様子でした。園舎の左側の階段踊り場にある絵画は、以前描かれた作品を寄贈していただいたものです。是非降園時に親子で国友先生の世界観を楽しんでみてはいかがでしょうか。今後も国友先生と一緒に道具を大切に使うこと、絵を自由に表現することを楽しみたいと思います。



花束でお祝いしたよ♡

汚れたら、自分で拭けるよ

国友先生の言葉や考えていることに面白さを感じたエピソードを紹介します。

エピソード①『「版画はしない」っていいな～』

けやき組さんが事前に作成したオリジナルの版画を持ってのわくわくアート時のこと。版画の意味、版の押し方等を教えてもらい、まずはそれぞれ絵筆を持って自由に描き始めました。早めに版を押したい子、後からしたい子など様々です。版画コーナーが空いていたため、版画をすすめたところ、「版画はしない（今は）」と言う多くの子たち。その言葉だけをとると、どうして？作ったのに？と思う言葉ですが、描いているうちに自分の描きたいことに夢中になり、版画をしないという選択をしたのです。国友先生も「自分で選べるなんて最高やな～、版画はまたクラスでもできるしな」とおっしゃっていました。「せっかく作ったのに…」でなく、子ども達に選択肢を与えた上で、『しない』を選らんだその姿に、自分達の思いやもっとしたいという意欲が育まれているなと感じました。

エピソード②『面倒なことだからした方がいいこともある』

国友先生からわくわくアートの指導をしてもらって数十年が経ちますが、時代と共に保育の形も変わり、わくわくアートの取り入れ方も変化してきました。子ども達が主体的に動くためにはどうしたらいいか、道具の片付けの手順も大切だけど、描く時間も保障したい等、今の子ども達にとって何がベストかを必要に応じて話し合ってきました。方法を模索していく中で国友先生から、「昔は色を変えるたびに筆を洗うのにも順番をついていたけど、そういう面倒なことだからした方がいいこともあるよな。絶対何かが育つとるはずだと思うよ」とのこと。昨今のAIなどを使用した利便性や効率が増えてきている世の中で、面倒な作業をする中で、自分で考えてどうしたらいいかを見つけること、どうしてほしいかを言葉で伝えることの必要性をおっしゃっていました。水入れの水を水しぶきに気を付けながら流すことや絵の具をこぼした時にはどうすべきか等、準備をしたり、片付けたりする過程の中で、効率ではなく、計画どおりにいかないことから学ぶ大切さがあることも経験できたらいいなと思います。